

たかが「挨拶」、されど「挨拶」

朝礼で「大きな声で挨拶をしましょう」と言っています。たかが挨拶、されど挨拶です。

挨拶で得られる効果とは・・・

- ① 大きな声で挨拶をすると「気持ちがいい」です。挨拶には、体と心をしっかり目覚めさせる力があります。挨拶するだけで「気持ちのいい一日」を始めることができます。
- ② 挨拶する時、無意識のうちに笑顔を作ります。暗い顔で挨拶はしません。挨拶をすると「笑顔」が増えます。自然に笑顔になる機会を作れて気持ちも上向きにしてくれる「挨拶」はありがたい言葉。
- ③ 挨拶は、相手を認めていることの表現です。誰でも認められるのは嬉しいですね。自分を認めてくれた人に対して好意的に接するようになります。挨拶をするだけで、人間関係は格段に良くなります。
- ④ 挨拶をすることは、とても簡単なことですが、これは「常識がある人かどうか」を判断するひとつの材料になっています。大きな声で笑顔で挨拶するだけで、あなたは社会人として評価されます。

- ⑤ 挨拶は、会話への入口です。挨拶を続けていると会話しやすくなり、相談などもし易くなります。孤独というストレスから解放されます。
- ⑥ あなたが「大きな声で、笑顔で、挨拶しよう」と思い立ったらすぐ始められます。

まず、やってみましょう。



『熱中症』に気を付けよう！

熱中症の季節になりました。熱中症を引き起こす条件は「環境」「からだ」「行動」が考えられます。

環境

- ・気温が高い
- ・湿度が高い
- ・風が弱い
- ・日差しが強い
- ・閉め切った屋内
- ・エアコンの無い部屋
- ・急に暑くなった日
- ・熱波の襲来



からだ

- ・高齢者や乳幼児、肥満の方
- ・糖尿病や精神疾患といった持病
- ・低栄養状態
- ・下痢やインフルエンザでの脱水状態
- ・二日酔いや寝不足といった体調不良



発想の転換

アイデアは現場から

発想の転換・アイデア・工夫で！！
小さなアイデアと 20 ドルが大きな工場のトラブルを無くした話（実話です）

この工場では時々「中身が入っていない粉チューブの箱」を出荷してしまう問題がありました。

この問題は生産ライン自体に問題があり、機械のタイミングをなんとか調整しても 100%箱に入るようにすることは難しいとされていました。

そこで会社の CEO（最高経営責任者）は経営陣を集め、外部のエンジニアに依頼して、この問題を解決するための新規プロジェクトを立ち上げます。このプロジェクトの期間は 6 ヶ月、800 万ドル（約 9 億 8000 万円）が掛かった大規模なものとなりました。

実施されたのは、通常よりも重量が軽い箱が通った場合に、ベルの音と光で知らせるシステムの構築でした。ベルが鳴ると生産ラインをストップさせて、工場の人々が空箱を捨てるという流れです。

そのシステムが導入されて以降は、顧客からの苦情も減り、売り上げも上がり、プロジェクトの予算を上回る効果が出たと CEO も喜んでいました。

行動

- ・激しい筋肉運動や、慣れない運動
- ・長時間の屋外作業
- ・水分補給できない状況



熱中症を引き起こす可能性があります！



自分の為に、自分の異変に気をつけよう。

そして、しばらくたったある日のこと。CEO がその後のプロジェクトの様子を確認しに工場にやってきました。そして、どれくらいの数の空箱が出てベルが鳴っているかを調べてみると、この3週間で1つの空箱もでていない（ベルが1回も鳴っていない）ということがわかりました。

「おかしいぞ」と思ったCEOは、現場のエンジニアに聞いてみましたが、正しい報告数値だといっています。疑問に思った彼は工場まで足を運び、生産ラインの現場を自分の目で確認しました。

すると空箱を検知する場所に、1台20ドル（約2500円）の扇風機が置かれていることに気がきます。そして、空の箱が通るたびに扇風機の風で箱を吹き飛ばしてゴミ箱に入れていたのです。

CEO がエンジニアに説明を求めると「ベルがなるたびに止めに行くのがめんどくさかったので、扇風機を置いたんですよ」と答えました。大金を掛けて行なわれるプロジェクトよりも、現場の人の小さなアイデアが、素晴らしい解決策を見出す好例です。

「お客様の満足が会社を存続させる」

言い換えると「お客の不満は会社を消滅させる」

貴方は十分に理解していると思います。・・・が、以下のことについて再考をお願いします。

第一印象（身だしなみ）。言葉遣い。話を聞くこと。意見を言う（提案する）こと。あいさつ。報告（説明）したか。連絡したか。より早く。より綺麗に。より安全に。

社訓 「顧客のニーズ（要望）に応えよう」

基本方針 我が社は、顧客のニーズ（要望）に応え、技術と誠意をもって施工することで、顧客へ「安心」と「満足」を与え、地域に愛されながら、社会に貢献する。

心得 我々は、建築設備の「専門医」です。技術を磨き、点検調査を行い、お客様の財産の為に悪いところを直します。
我々は、建築設備の「救急隊」です。お客様の要望に応え、緊急の場合は、夜討ち朝駆けで迅速に出動（対応）します。
我々は、建築設備の「コンサル」です。知識と誠意をもって「安全」「安心」「満足」をお客様に提案します



あとうぢか
できぬん
なまのこは
いまのこは
いまして
まじがどきぬ

株式会社

太田電機工業所

阿久根店：鹿児島県阿久根市港町65-4

TEL:0996-73-2800 FAX:0996-73-2024

出水店：鹿児島県出水市大野原町304

TEL:0996-63-1966 FAX:0996-63-1965

E-mail：oota-i@po2.synapse.ne.jp

URL：http://oota-denki.com